仮面ライダー響鬼
虎ノ巻
Newtype THE LIVE
特撮ニュータイプ
2005年3月号別冊付録

仮面ライダー響鬼

虎ノ巻

響鬼

凄腕の魔化魍ハンターとして、彼らと戦い続けてきた男。それが仮面ライダー響鬼だ。鬼となったその日から響鬼と名乗り、数多の戦いの中で成長し、立派なひとりの男となっていた。

普段は人と何ら変わらない容姿だが、戦闘時には人を越えた超人的な能力をもつ鬼のような姿へと変貌する。これは機械や科学によるものではなく、想像以上に厳しい修行の結果として得られたもの。つまり響鬼の姿は戦うために己を鍛え上げた結果であり、同時に強者たる証にもなっている。

だが響鬼は決してひとりで戦っているのではない。鬼と同様、現代でも活躍する〝猛士〟たちによって様々なサポートを受けているからこそ、安心して戦えるのだ。

現代における猛士の活動は多岐にわたっている。情報収集や専用車両（四輪駆動車の〝不知火〟による現場への移送、身体を休めるためのベースキャンプや食糧の確保、さらには音撃武器の開発など。野山を駆け回り、魔化魍と戦う鬼たちをバックアップしている。なお猛士は表向きの顔として、オリエンテーリングを主催するNPO（非営利団体）〝TAKESHI〟の看板を掲げ、全国各地にネットワークを確立させている。そして魔化魍の起こす様々な事件に対応し、同時にそれらが表沙汰にならないよう努めているのだ。

こうして鬼と猛士は人々の知らないところで、今もまた魔化魍たちと戦い、退治し続けている……。

身の丈（＝身長）：七尺三寸（約222㎝）
目方（＝体重）：四十一貫（約156㎏）
強力（＝腕力）：六百人力（約6ｔのものを持ち上げられる）
早がけ（＝平地での走る速さ）：一町（三百六十尺＝約100ｍ）を約三秒で走る
遠がけ（＝持久力）：一日で二十五里（約100㎞）を駆ける
飛跳力（＝ジャンプ力）：最大でひと飛び約四十一間（75ｍ）
打撃力（＝パンチ力）：火事場の馬鹿力的な最大時で五三三三貫（約20ｔ）
蹴力（＝キック力）：火事場の馬鹿力的な最大時で一〇六六六貫（約40ｔ）

彼の名は

変身音叉 音角

ヒビキが変身する際に使用する道具。音叉の共振によって特殊な音波を発生し、ヒビキの肉体組織を変化させる。またこの音角はディスクアニマルを使役する際にも使われる。

↑ヒビキは、共振させた音角を額にあてることで変身するのだ

音で肉体を変え——

ディスクアニマル

響鬼が使役する音式神。動物の魂を秘めており、響鬼の命令を受けて稼働する。赤は鷹型のアカネタカ。青は狼型のルリオオカミ。緑は大猿型のリョクオオザル、とそれぞれ動物の姿へ変形する。通常は銀色の円盤状で、装備帯に付属(アカネタカ手裏剣としても使用可能)。音角の音波によって目覚め、色をもち、動物の姿に変わる。猛士によって開発された。

響鬼の能力の根幹は音にある。それは変身のみならず、対魔化魍戦においては、武器としても利用される。魔化魍は物質的な攻撃では消滅させることが出来ないため、清めの音のみが有効だからだ。

音を武器とする

音撃鼓 火炎鼓

響鬼の腰の装備帯(ベルト)中央に備えられた特殊な太鼓。これを敵の身体に貼り付け、烈火で連打することによって〝清めの音〟＝音撃を叩き込む、いわば触媒のような道具である。

音撃棒 烈火

普段は装備帯の後ろに装備されている音撃武器。「烈火・阿」と「烈火・吽」の二本で一対とされ、〝清めの音〟を鳴り響かせる。

↓二人の最初の出会いは屋久島へ向かうフェリー上でのこと。きっかけは替え歌だった。

↓ヒビキがひとりで屋久島へ向かった目的とは？　そこへ予想外のものがあらわれる。

↑明日夢は一風変わった雰囲気を持つヒビキに、言いしれぬ何かを感じていた。

ヒビキと明日夢

ヒビキという〝大人〟と明日夢という〝少年〟。悩みを抱えた少年が理想となる大人と出会うところから「仮面ライダー響鬼」の物語がはじまる。

鬼に変身する能力をもつ青年・ヒビキ。性格は気さくで人当たりがよく、猛士のメンバーのみならず、多くの人々から慕われている。その反面、常に鬼として、敵の存在に注意を払う一流の戦士としての顔ももっている。余裕を感じさせる大人の男だが、ひょうひょうとしたところもあり、替え歌が好きという変わった一面も垣間見せる。

一方、安達明日夢は高校受験を控えた中学三年生。ミュージシャンになるという夢を持っていて、ブラスバンドの活動を続けたいが、様々な想いの中で進学校へ進もうとする少年。人生最初の岐路に立ち、漠とした悩みを感じつつも、それを表に出さないよう振る舞う気丈な面も持っている。

果たして二人は、一つの出会いをきっかけにどう変わっていくのか？

↑立花香須実（かすみ）、日菜佳（ひなか）／猛士の一員として姉妹でヒビキをサポートする。普段は東京下町の老舗の甘味処“たちばな”を手伝っている。ちなみに、たちばなの店主で父の勢地郎（いちろう）は猛士の事務局長で“おやっさん”と呼ばれ、親しまれている。

↑安達郁子／明日夢の母親。離婚して、女手一つで明日夢を育てている。職業はタクシードライバー。

↑安達千寿／明日夢の従姉妹。年齢が近いせいか屋久島での明日夢のお姉さん的存在。

↑持田ひとみ／明日夢の同級生で友達以上、恋人未満のいわゆるガールフレンド。明日夢とは同じ高校を受験しようとしている。

ヒビキと明日夢を支える人々

二人の物語は

戦い
www.modxtoy.com

鬼とものののけの

千寿をさらった怪しげな男女。それは魔化魍と呼ばれる怪物を育てようとしていた〝姫〟と〝童子〟だった。

駆けつけたヒビキの姿を見て「鬼さん、こちら〜」と挑発する姫と童子。ヒビキは音叉を鳴らし、額にあて、響鬼へと変わった。

それを見た姫と童子もまた、蜘蛛を思わせる紋様をした怪人（妖姫と怪童子）へとその姿を変化させる。

白い糸を吐き、木々を自在に駆け回る妖姫と怪童子。響鬼はこれにどう立ち向かうのか？　そしてこの2人は何のために屋久島に潜伏していたのか？

人知れず行われてきた超人＝鬼と妖怪＝魔化魍との戦い。それがこの屋久島で再び繰り広げられようとしていた……。

憧れの大人と

ヒビキ：細川茂樹

栩原楽人
安達明日夢
憧れる少年
「仮面ライダー響鬼」の中心となるのは、ヒビキと明日夢の2人――。ヒビキを演じる細川茂樹と明日夢を演じる栩原楽人、お互いにどのような気持ちで作品に臨んだのか？ その一端を探るべく対談形式で探っていこう

十二月十三日 製作発表会

森絵梨佳＝持田ひとみ

「今年東京に出てきて、初めての大きな仕事で、しかも連続ドラマは初めてなんです。でも私が演じるひとみは元気な子なので、私も元気に頑張りたいと思います。響鬼を見た私のお母さんも『絶対子どもに人気がでる』って言ってました（笑）」

栩原楽人＝安達明日夢

「僕は明日夢とは年が近いのでこの一年を通して、明日夢と共に人間として成長して行けたら良いなと思っています。最初は仮面ライダーと聞いたので、響鬼も目が大きくてイナゴみたいなものを想像していたんですけど、全然違っていて格好良かったです」

「僕が出演することは他の役者陣や芸能関係の方へ新しい風を吹かせることだと考えてまして、突拍子もないことではないと思ってます。みんなに愛されるキャラクターということを念頭において、セリフのひとつひとつ、言葉選びから仕草から考えて、責任を感じてやってます」

細川茂樹＝ヒビキ

「この作品には新しい息吹や、心機一転した匂いを感じています。私も演じる上で楽しめるだろうなと思いますし、それも視聴者の皆さんに伝えられるものだと思っています。また響鬼は初めて見ましたがやっぱり格好良かったです、肉体美ですね（笑）」

神戸みゆき＝立花日菜佳

「役柄については途中参加なので、はっきりしていないんですけど……作品そのものが凄く変わったモノになるということで、『仮面ライダー』にとっても、自分にとっても挑戦になっていくんじゃないかな、と思っています」

渋江譲二＝ヒビキの仲間

12月13日。東京・目黒雅叙園にて本作の製作発表会が行なわれた。畳の大広間で座布団に座っての発表会という一風変わったスタイルで、集まったマスコミ各社へも期待感を膨らませる空気を漂わせていた。

そして琵琶と太鼓の生演奏が響く中、レーザーとスモークに浮かぶ響鬼と怪童子のパフォーマンスからスタート。

梶淳プロデューサーの語る「あんな人になりたい、というヒロイズムの原点をシンプルに追及したい」。そんな言葉を体現するかのようなキャスト陣の紹介や質疑応答が行われた（各氏のコメントは上記を参照）。

髙寺成紀プロデューサーがコメントの中で「完全新生、そして変えていくこと」がテーマだと語った通りの、斬新な作品作りを感じさせる発表会であり、和を感じさせる本作に相応しいお披露目となった。

Newtype THE LIVE
特撮ニュータイプ
2005年9月号別冊付録
仮面ライダー響鬼
秘伝の書
www.modxtoy.com

鬼と呼ばれる男たち

心身を鍛え上げ、逞しい〝鬼〟となって人々のために戦う男たち。
その存在は〝伝説〟ではなく〝現実〟であり、彼らと魔物たちとの戦いは
人知れず行なわれていた。そして2005年。
彼らの活躍はひとりの少年の目にとまる……。

デザイン◎フェイク・グラフィックス　構成・執筆◎[illegible]

鬼と出会った日

受験を間近に控えた安達明日夢は、ヒビキと名乗る一風変わったオジサンと出会い、
彼に憧れにも似た感情を抱く。だが、そのヒビキは、突如現われた怪物＝魔化魍を前にして〝鬼〟へと変身。
明日夢が見守る中でこれを倒すのであった……。

「鍛えてますから」。フェリーから落ちそうになった子どもを助けたヒビキは、明日夢にそう言い残した。

明日夢にとってヒビキは兄や父のようでもあり、また憧れの対象ともなっていく。

…の森で魔化魍に襲われた明日夢。それを助けたのは"鬼"の姿をしたヒビキであった。

響鬼

接近戦に秀でた音撃棒と音撃鼓を使って魔化魍を倒す戦士。必殺技となる音撃打は「火炎連打の型」「一気火勢の型」「猛火怒濤の型」「豪火連舞の型」そして爆裂火炎鼓を使った「爆裂強打の型」など、打ち方によって様々。その他、口から炎を吐く鬼幻術・鬼火や鬼闘術・鬼爪など多彩な技の持ち主。現在は特別遊撃班として、様々な事件をお助けしている。

敵に貼り付けた音撃鼓・火炎鼓に音撃棒・烈火（阿・吽）で清めの音を発する響鬼。なお音撃棒は烈火弾を発したり、烈火剣としても使用可能。

ヒビキは変身音叉・音角が発する特殊な音波を受けることで、肉体を鬼の姿へと変化させる。その際、紫色の炎を纏っている。

明るく飄々しているが敵を目の前にすると一流の戦士としての顔を見せるヒビキ。その名は鬼としてのコードネームで本名は日高仁志。31歳。

偶然の再会

東京へ戻ってきてもヒビキのことが忘れられない明日夢。
会いたいという気持ちを抑えられず悶々としていたが、偶然が重なりヒビキとの再会を果たす。
受験に悩み、身が入らない明日夢を、ヒビキはヒビキなりの言葉で励ますのであった。

今のままでは志望校に合格できないと知らされ、
落ち込む明日夢。

街でヒビキに似た雰囲気を持つおじさんを見かけた明日夢はその後をつけていく。
すると……。

魔化魍の存在を知らせてしまったことを謝るヒビキ。

香須実は、ヒビキが明日夢に鬼の姿を見せたことを聞き
責め立てる。

猛士徹底分析　壱

類い稀なる能力を持つ鬼たちでも、単独で行動しているわけではない。支援組織である「猛士」たちのサポートや各種機器類があってこそ、魔化魍の捜索及び退治が行えるのだ。特にディスクアニマル（＝音式神）は戦闘時のみならず、探索活動にも用いられる重要なアイテムである。

捜索時の拠点として、また戦い疲れた鬼たちが身体を休める場所としてベースキャンプを設置する。

ヒビキが主に乗用している《不知火》。魔化魍退治の際はこれで現場まで向かう。運転は香須実の役目である。

ルリオオカミ（瑠璃狼）

アカネタカ（茜鷹）

キハダガニ（黄蘗蟹）

リョクオオザル（緑大猿）

ディスクアニマルは動物の魂を用いた、いわば自律型ロボット。鬼たちはこのうち3匹を常備。設定された行動範囲内で録画・録音機能を使って魔化魍を探索。なお現場には任意のものを15体ずつ持っていくのが通例。

起動前は銀色のディスク状となっているが、変身音叉などで起動させ[illegible]り、[illegible]を[illegible]する。

明日夢はイブキに"猛士"の一員と間違われ、ヒビキの"仕事場"へ行くことになってしまった。

本来は得意ではないバケガニとの戦いを終え、ほっと一息つく響鬼

いまだ迷いを捨てられない明日夢に、ヒビキは「鍛えたりなきゃ鍛えるだけだろ」と言う。

若き疾風の戦士

志望校に合格した明日夢は、喜びのあまり山奥で鍛錬中のヒビキに伝えようとするが、道に迷ってしまう。
山奥で遭難かと思ったその時、イブキと再会。
彼の弟子のあきらからは邪険にされるが、明日夢は自分なりの誠意を見せる。

明日夢のやさしさに触れて、あきらは明日夢のことを許し、表情を柔らかくする。

晴れて高校受験に合格した明日夢。

勇んで、ヒビキの元へと向かうのだが……

明日夢はヒビキから鬼のこと、そして猛士のことを聞かされる。

逃れられない悪意、湧き出る邪気

万引きを目撃したことで、人の心の中にある悪意を突きつけられ戸惑う明日夢。
だがみどりから、ヒビキもかつて同じように迷っていたことを聞き、少し救われた気持ちになる。
だが高校生活を謳歌する間もなく、明日夢は盲腸になってしまう。

明日夢はたちばなの地下で
みどりからヒビキの過去を聞かされた。

100年ぶりに現われたオトロシに、
響鬼が威吹鬼と共に立ち向かう!

響鬼はオトロシを追跡するため、
威吹鬼の竜巻を運転するのだが……

明日夢は万引きをした少年に出会ってしまい、
[illegible]暴力にさいなまれる

不条理過ぎる暴力を受けて落ち込む明日夢を、
ひとみの優しさが包み込む。

猛士徹底分析　弐

イブキが魔化魍退治の際に搭乗する《竜巻》。DAや音撃管など最低限の装備を積んでいる。この他、プライベート用に二台のバイクを持っている。

アサギワシとキアカシシはみどりが開発した〝春の新作〟でDAの編隊を率いる隊長機の役割も持つ。ニビイロヘビは水中探索用としてイブキが愛用するDAだ。

アサギワシ（浅葱鷲）

キアカシシ（黄赤獅子）

ニビイロヘビ（純色蛇）

イブキは弟子のあきらをパートナーとして魔化魍退治などにあたる。なお彼女は鬼の候補でもある。

弟子として「序の六段」にあたるあきらはイブキと同型の鬼笛でDA

イブキのピンチに駆けつけたヒビキ
強敵を目の前に緊張感が

魍を喰らう乱れ童子に対し、
2人の鬼のコンビネーションが冴える

師と弟子——ふたつの関係

明日夢が病院で出会ったザンキは自分の力の限界を感じ、戸田山にその任を譲る。
戸田山は重責に押しつぶされそうになるが、何とか初仕事をやり遂げる。
その頃、退院した明日夢はヒビキから「弟子にするつもりはない」と告げられる。

足尾にあらわれたヤマアラシを前に、果敢に立ち向かっていく2人の鬼。
電撃を纏い、今変身する！

息のあった攻めで怪童子と妖姫を追いつめていく
斬鬼と戸田山

ヤマアラシを無事に倒した戸田山。
だが変身解除はまだ自分のものにしていなかった……

初戦で上手く戦えなかった戸田山。
だが自分なりの戦い方を見つけ、一皮むけていく

明日夢を見守る人々

明日夢の進む道を照らす心正しい大人たちと彼を信じる人々。
優しい心に守られながら、彼は人間として一回りも二回りも大きくなっていく……。
ここではそんな人々の横顔を紹介していこう。

関東十一鬼

魔化魍と戦っているのは響鬼たちだけではない。勢地郎が担当する関東支部には他にも鋭鬼、剛鬼、勝鬼、闘鬼、蛮鬼、吹雪鬼の十一人が所属。各所で発生する事件に対し、迅速に対応している。なお彼らの出動については体調面などのことも鑑み、シフト表が作られ管理されている。また、東北には凱鬼という鬼がいる。

斬鬼

弦の使い手でトドロキの師匠。度重なる激闘で右脚の古傷がたたり、引退を宣言。なお、斬鬼の名は彼の師匠譲り。本名は財津原蔵王丸。

弾鬼

音撃棒・那智黒と音撃鼓・御影盤を使った「音撃打・破砕細石」を必殺技とする鬼。勇敢な戦士だがやや短気。本名は段田大輔。

裁鬼

音撃弦・閻魔と音撃震による「音撃斬・閻魔裁き」が必殺技。高齢（36歳）ながらも現役。本名は佐伯栄。刹というサポーターが

写真左から順にイブキ、ザンキ、勢地郎、ヒビキ、トドロキ、明日夢。ザンキはトドロキの師匠で、今は良きパートナーとして彼をフォロー。ヒビキと同年代ながらも落ち着きのある接し方で明日夢にヒビキと違う大人の面を見せる。立花勢地郎は猛士関東支部の支部長。甘味処たちばなを経営するかたわら鬼たちの行動を見守る。かつてはイブキの父とコンビで魔化魍退治を行っていた。そして屋久島で魔化魍と響鬼を目撃した安達明日夢。現在は城南高校の1年生。ブラバンに所属しながらも、少しでもヒビキたちの助けになればとたちばなでバイトに励む。

写真左から、日菜佳、あきら、香須実、ひとみ、みどり。立花日菜佳は主に猛士データベースの管理や情報分析などを行なう。トドロキとはいい仲。天美あきらは2年にわたってイブキに師事する弟子であり、明日夢とは同級生。立花香須実はヒビキのパートナーとして前線で戦う彼をフォロー。幼なじみのイブキとはイイ感じの仲になりつつある!? 持田ひとみは明日夢の幼なじみでたちばなの常連。家族ぐるみの付き合いで、明日夢に恋心を抱いているようだ。滝澤みどりはヒビキの幼なじみの才女。猛士の研究開発部門の一員として、吉野とたちばなの地下研究室でDAや音撃武器の研究開発を行なっている。ヒビキが鬼になるきっかけを作ったとも言える女性。

猛士関東支部となっている甘味処たちばな。柴又にあり、きびだんごが美味しいと評判の老舗の茶屋でもある。なお猛士は、オリエンテーリングを主催するNPO団体“TAKESHI”としての表の顔を持っている。

左から明日夢、紀子、中学での担任だった綾先生、克典（通称カツオ）、ひとみ。紀子とカツオも明日夢と同じく城南高校に合格した。

明日夢の母親・郁子。夫とは離婚しており、女手ひとつで明日夢を育て上げてきた。明日夢に鷹揚なところもあるが、実は人一番心配している。

成長していく若者たち

ヒビキの弟子(すなわち鬼)にはならないが、
自分にもヒビキたちを助けられることがあるかもしれないと思い「たちばな」でのバイトを始める明日夢。
そこで明日夢はヒビキに影響を受けて、少しずつだが男として成長していた。

香須実とショッピングを楽しんでいたイブキの前に
童子と姫が現われる

浅間山に現われた合体魔化魍に対し、
三人の鬼はそれぞれの音撃を共鳴させる!

[illegible]三人の鬼[illegible]
爽やかな笑顔で現場を和ませる。

病に倒れたお師匠さんを看病する明日夢。
ひとみにはその姿が以前よりも頼もしく写った。

猛士徹底分析　参

トドロキとザンキが乗用する《雷神》。もともとはザンキ用に貸与された車だが、トドロキがDAと共にそのまま受け継ぐこととなった。

都心に現われたオオナマズに対し、
素手で挑む威吹鬼。鬼に課せられた使命は過酷なのだ。

猛士のメンバーは支部に集まるものだけではない。一般人と変わらぬ生活をしつつ情報収集や鬼の鍛錬を手伝う者（写真左）やみどりのように各種装備の研究開発のため、本部と行き来しながら活動する者など多岐に渡る。

バイトを始めた明日夢の前に現われたトドロキ。
日菜佳の猛アタックにタジタジ……。

ザンキが鬼として活動していた際に使用していた変身鬼弦・音枷。機能はトドロキの音錠と変わりはない。

トドロキが愛用する水陸両用のDA。録音・行動時間も長く、また[illegible]ブナに優れてい[illegible]

化猫を退治した後、周囲を清めるために音撃を放つ轟鬼。
それが彼流のやり方なのだ。

魔化魍の食糧は人間そのものである。だが魔化魍によっては、必ずしも全身を必要としているわけではない。

童子と姫は戦闘形態とも言うべき、怪童子と妖姫へと変身することができる（写真はドロタボウの童子と姫）。

童子と姫は魔化魍と同様、同種のものが存在。違いは体色程度（写真左は房総、右は大洗に出現したバケガニの怪童子と妖姫）。

童子と姫の中には、武者童子、鎧姫と呼ばれる形態に変わるものもいる（写真上はヌリカベの童子と姫が変化した姿）。

魔

古来から妖怪や魔物として言い伝えられ、人間の天敵として存在する魔化魍。人間によく似た童子と姫によって育成されるが、その発生の起源や目的は一切不明。猛士では妖怪の名前をあてはめて、各個体を呼称する。

大洗に出現したアミキリはバケガニの変異体で飛行能力を有する魔化魍。黒衣の男の実験によって生み出された。

ウブメとヤマアラシが合体した魔化魍（ナナシと呼ばれる）。通常の音撃技で倒すことは不可能であった。

魔化魍や童子、姫を喰らって成長する童子の変異体である乱れ童子。猛士の古文書にもその存在は記されていた。

童子や姫に黒い魂を飲ませ進化させたり、合体魔化魍を生み出すと魔化魍を使って何らかの実験を行なう謎の男。

屋久島に出現したツチグモ。巨大な身体だが走行速度が高い。目下のところ明日夢が唯一目撃した魔化魍である。

ザンキに致命傷を負わせた房総のバケガニ。ヒビキは一度は敗退、また苦戦しながらもこれを倒した。

下野に出現したヌリカベ。街を襲おうとするが、猛士を支える松山一家の情報提供により発見、阻止に成功する。

夏に現われる等身大の魔化魍。分裂するという特徴を持っている。写真はドロタボウの一群。

カッパは口から吐く液体で対象物を固めるという特性を持つ魔化魍。ちなみにこの固形物から発生するガスは人の声を甲高くさせる。

等身大の魔化魍の出現に合わせて現われた白衣の男。黒衣の男と同様、様々なメーターが付いた杖を使う。

バケネコもやはり等身大の魔化魍で素早い動きで敵を圧倒 [illegible]

ヒビキは夏に現われる等身大の魔化魍に対抗するため、自らを鍛え直し、響鬼紅へと変身!

[illegible]魔化魍退治に出かける三人の鬼。[illegible]彼らを笑顔で送り出した。

水中での行動が得意なカッパに対し、苦戦する響鬼。だが特訓の成果で勝機を得る。

カッパの出現を予測して、水泳の特訓をするヒビキたち。

専用のバイクを駆るヒビキ。これで彼も単独での行動が可能となった。

真夏の出来事

ブラスバンド部に入ったものの、お目当てのドラムを叩けずに思い悩む明日夢。
[illegible]ヒビキ[illegible]納得することに。
それから数日後、遊びに出かけたプールで、明日夢はツトムという青年と出会う。

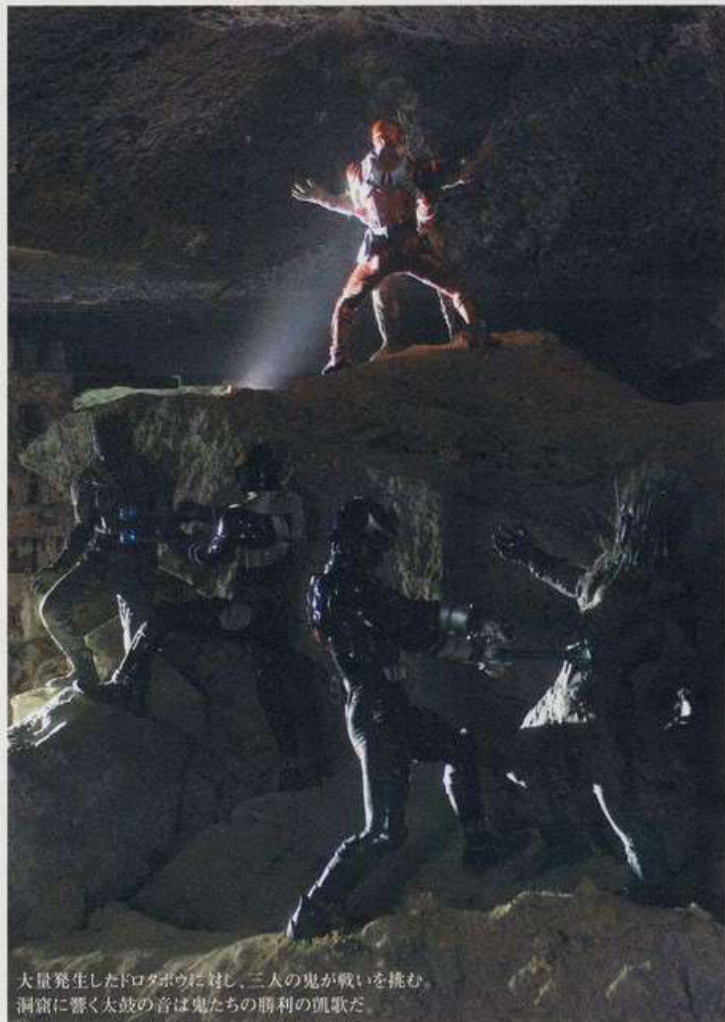
響鬼紅

ヒビキが強化変身した姿。必殺技は音撃打「灼熱真紅の型」。なおこの形態は体力を消耗するため1時間しか保持できない。

猛士徹底分析　四

ヒビキ専用の大型バイク"凱火"。バイクを再特訓したため、猛士本部から貸与されることとなった。

威吹鬼が使用する青の音撃棒と音撃鼓。夏の魔化魍に対し、毎年使用している。

轟鬼が使用する緑の音撃棒と音撃鼓。独り立ちして初めての夏を迎[illegible]

大量発生したドロタボウに対し、三人の鬼が戦いを挑む。洞窟に響く太鼓の音は鬼たちの勝利の凱歌だ。

ヒビキとは違う。トドロキの鍛え方のペースにちょっと戸惑う明日夢。

…とみやトドロキの前に現われたツトムと呼ばれる青年。彼も猛士のひとりなのだろうか？

夏らしいヒトコマということで、二十五之巻で披露された水着姿を
楽しそうな表情でカメラに写る、フォトジェニックな彼女たちの魅力を再確認しちゃって下さい。
あ、チアガールスタイルのひとみと紀子はサービスってことで……。

「響鬼」の二大カップル、イブキ&香須実とトドロキ&日菜佳。実に楽しそうに写っています（トドロキはちと気張りすぎかな？）。

従来にないヒーロー番組の主人公のひとり＝安達明日夢を演じるようになって半年以上。
ベテランに囲まれて戸惑った日から、多くの仲間に囲まれて、
少年は明日夢と同様、確かに成長していた。
この別冊を総括するにあたって、本人からその軌跡を聞いてみよう。

撮影◎中村実

栩原楽人
安達明日夢

「仮面ライダー響鬼」
●毎週日曜朝八時から、テレビ朝日系にて放映中
http://www.tv-asahi.co.jp/hibiki/（テレビ朝日公式）
http://www.toei.co.jp/tv/hibiki/（東映公式）
http://www.ishimoripro.com/（石森プロ公式）
［STAFF］
原作＝石ノ森章太郎／プロデュース＝梶淳（テレビ朝日）、高寺成紀、土田真通（東映）／プロデュース補＝大森敬仁（東映）
脚本＝きだつよし、大石真司／監督＝石田秀範、諸田敏、坂本太郎、金田治、高丸雅隆／アクション監督＝宮崎剛
VFXスーパーバイザー＝沖満／音楽＝佐橋俊彦／制作＝東映、テレビ朝日、ADK
［CAST］
ヒビキ＝細川茂樹／安達明日夢＝栩原楽人
イブキ＝渋江譲二／トドロキ＝川口真五／立花香須実＝蒲生麻由／立花日菜佳＝神戸みゆき
持田ひとみ＝森絵梨佳／天美あきら＝秋山奈々／童子＝村田充／姫＝芦名星
安達郁子＝水木薫／滝澤みどり＝梅宮万紗子／ザンキ＝松田賢二
立花勢地郎＝下條アトム
©2005石森プロ・テレビ朝日・ADK・東映
www.modxtoy.com